

# ライフスタイル賞

いしぐろ ひろし  
**石黒 宏**

ながさきけん ふくえし  
長崎県 福江市



ライフスタイル賞

## 講評

東京生まれの山形育ち。東京でのサラリーマン、脱サラ・外国(ブラジル)生活などを体験し、昭和50年に農業新規参入者として五島列島の福江市に約2haの土地を入手し定住。20年前に日曜朝市を仕掛けるなど、長年この市の世話役を務めている。地域に溶け込み、地産地消活動の世話役を担うといったライフスタイルは、田舎暮らしを目指している人々の参考になり、また、広い視野での生き方は、青少年に対し生きる道が多様にあることを示すモデルになるという点が評価された。

# ライフスタイル賞

かどた すすむ  
**門田 進**

おかやまけん おおほらちよう  
岡山県 大原町



## 講評

自分のライフスタイルには欠かせない、ログハウス、薪ストーブ暮らし、ダッチ・オーブンのある暮らしを実現するために、また、仕事の診療放射線技師を生かした僻地医療、福祉にも貢献していきたいと8年前に現住所へ移住した。身に付けた技術を生かした定職を持ち、趣味と結びつけたカントリーライフを満喫、HPでもハンドルネーム田舎時遊人という名でその魅力的な自分のカントリーライフの情報をお洒落に発信しており、これから田舎暮らしを考えている人の参考になる点が評価された。

# ライフスタイル賞

そねはら ひさし  
曾根原 久司

やまなしけん ほうしゅうまち  
山梨県 白州町



ライフスタイル賞

## 講評

東京で銀行や企業等のコンサルタントを行っていたが、バブル経済の崩壊をきっかけに骨太の地域社会構造のモデルを作るべく山梨へ移住。遊休農地を人力で開墾し、最終的には2haの農地で自給を基本とした生活を実践。趣味の音楽を生かした地域での文化活動は地域活性化に大きく貢献している。また、地域に多かった定住者と地元住民の接点を探り、自ら調整役として積極的に活動している。自給の生活をベースに自分の趣味や特技を伸ばすライフスタイルを実現しながらも、地域社会に溶け込む努力をしている点が評価された。

# ライフスタイル賞

ながさき きいち  
**長崎 喜一**

とやまけん・あさひまち  
富山県 朝日町



## 講評

県職員として在籍していた平成6年から杉の間伐材で手づくりの丸太小屋を建設し、集まってきた地元の仲間たちと平成8年に地域活性化グループ「やまびこの郷」を結成。その後、紙すき小屋、白炭窯等、里山の生活技術を伝承する匠の小屋を建設。炭焼きや紙すきなどのもの作りが体験できる活動を行っており、現在では県内外から年間約2000名が訪れるようになった。活動をここまで発展させたのは、長崎氏の信念と熱意に多くの人が集まり、地域住民とともに取り組んだ成果であり、また、定年退職後の生き方の一つとして参考になるという点が評価された。

# ライフスタイル賞

なかしま けんすけ  
**中島 健介**

ふくおかけん たちばなまち  
福岡県 立花町



ライフスタイル賞

## 講評

元々農業を営んでいたが、平成8年に農家民宿「大道谷の里」を登録し立ち上げる。口コミで都会からのお客さんも多く、現在は地域の仲間たちと力を合わせて福岡市、北九州市などから「子供ファームステイ」を受入れている。また、趣味である音楽を生かし素人バンドを結成し、ボランティアで老人ホームに出掛けたり、地域でコンサート活動も行っている。自ら田舎暮らしを楽しみ、そしてその楽しいところを積極的に情報発信している点が評価された。

# ライフスタイル賞

はたけやま よしこ  
**畠山 芳子**

とやまけん とがひら  
**富山県 利賀村**



## 講評

東京都武蔵野市の市議会議員をしていた畠山さんは、武蔵野市との姉妹都市提携の30年間にわたる交流をきっかけに利賀村へ魅力を感じ、60歳を機に移住した。現在は、交流ボランティアとして、毎年武蔵野市から受入れるセカンドスクールの子どもの世話や、村を訪れた人達の案内などを行っている。移住先でも、これまでの経験を生かした活動により社会貢献に繋がり、都市と農山村両者のコミュニケーションを高めている。これからの女性の新しい生き方のモデルになりうる点が評価された。

## オーライ！ニッポン大賞 審査委員

会長	川勝 平太	国際日本文化研究センター教授、オーライ！ニッポン会議副代表
	石井 幸男	(社)日本旅行業協会理事長
	井上 和衛	全国グリーンツーリズム協議会会長(明治大学名誉教授)
	岡島 成行	NPO法人自然体験活動推進協議会代表理事
	長岡 杏子	TBSアナウンサー
	平野 啓子	語り部、武蔵野大学非常勤講師、オーライ！ニッポン会議副代表
	松本 零士	(社)中央青少年団体連絡協議会会長
	村田 昭夫	毎日新聞社総合メディア事業局次長
	元石 一雄	(財)社会経済生産性本部 理事

## オーライ！ニッポン大賞 概要

### ●趣 旨

都市と農山漁村の共生・対流に関する活動を行っており、交流の拡大、活性化に寄与した団体・個人や、都市と農山漁村双方の生活、文化を楽しむライフスタイルを実践している個人を表彰し、その活動を広くPRすることで農山漁村を舞台とした新たなライフスタイルの普及推進を図ることを目的としています。

### ●表彰対象・審査基準

#### オーライ！ニッポン大賞

都市と農山漁村の共生・対流を促進するため、「都市から人を送り出す活動」、「都市と農山漁村を結びつける活動」、「農山漁村の魅力を活かした受入側の活動」等について優れた貢献のあった団体もしくは個人。

#### (1) 表彰の種類

グランプリ(下記「オーライ！ニッポン大賞」の中から1件グランプリを選定)

オーライ！ニッポン大賞 6件

審査委員会長賞 数件

#### (2) 審査の基準

- ア 農山漁村地域を舞台とした新たなライフスタイルの提案、普及に関する取り組みであること。
- イ 地域の個性を生かした取り組みであること。
- ウ 農山漁村地域を活性化する効果があること。
- エ 都市側、農山漁村側双方の住民の参加を促進する取り組みであること。
- オ 長期的な取り組みの実績があること。
- カ 効果が持続して発現すると見込まれること。
- キ 他の地域における応用性に富んでいること。

#### ライフスタイル賞

Iターン等により農山漁村において個性的で魅力的な新しいライフスタイルを実践している個人。

#### (1) 表彰の種類

ライフスタイル賞 数件

#### (2) 審査の基準

- ア 農山漁村を舞台とした新たなライフスタイルを実践していること。
- イ 個性的で魅力のある活動であること。
- ウ 新たなライフスタイルの実践に継続性があること。
- エ 新たなライフスタイルが他の人の参考となるものであること。

**〈主 催〉**

都市と農山漁村の共生・対流推進会議  
(オーライ/ニッポン会議)

財団法人 都市農山漁村交流活性化機  
構  
農林水産省

**〈共 催〉**

毎日新聞社

**オーライ/ニッポン大賞 事務局**

(財)都市農山漁村交流活性化機構

〒103-0028 中央区八重洲1-5-3 不二ビル8階

TEL.03-3548-2711 FAX.03-3276-6771 ホームページ <http://www.kouryu.or.jp/>